

平成 18 年 9 月 25 日

各 位

会社名 図書印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 勝
(コード番号 7913 東証一部)
問合せ先 取締役経理本部長 近江屋 喬
(03-3473-7327)
親会社等の名称 凸版印刷株式会社
(コード番号 7911)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 5 月 12 日の決算発表時に公表しました平成 19 年 3 月期中間期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 19 年 3 月期中間期業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(連 結) (単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	30,720	1,250	750
今回修正予想 (B)	29,900	650	360
増減額 (B-A)	820	600	390
増減率 (%)	2.7%	48.0%	52.0%
(参考) 前中間期実績	29,855	1,144	617

(単 体) (単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	30,620	1,150	660
今回修正予想 (B)	29,800	600	350
増減額 (B-A)	820	550	310
増減率 (%)	2.7%	47.8%	47.0%
(参考) 前中間期実績	29,766	1,093	596

2. 修正理由

(単 体)

当中間期に関しましては、前回発表予想に対し 2.7%の減収となる見込みです。とりわけ、長引く出版不況により、主力の出版印刷部門売上が予想に対し 4%減となるなど低調に推移しております。

利益面におきましても、当初計画していた川越工場の新設設備をフル稼働するための作業量が十分に確保できず、償却費、人件費等固定費の増加を吸収できませんでした。また、受注単価の下落は当期に入っても継続し、前回発表予想利益を下回る事となる見込みです。

上記の結果、売上高は 298 億円(当初予想比 2.7%)、経常利益は 6 億円(当初予想比 47.8%)、中間純利益は 3 億 5 千万円(当初予想比 47.0%)の見込みです。

(連 結)

単体の業績修正が主要因となり、売上高は 299 億円(当初予想比 2.7%)、経常利益は 6 億 5 千万円(当初予想比 48.0%)、中間純利益は 3 億 6 千万円(当初予想比 52.0%)の見込みです。

尚、通期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想に関しましては、現在、精査中であり、11 月 7 日に予定しております中間決算発表時にお知らせいたします。

上記予想数字は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上